

2020（令和2）年度事業報告

I 概況について

2020（令和2）年度は、従来から実施している①アマチュア局等に係る無線設備の技術基準適合証明・工事設計認証、②アマチュア局保証業務、③集合形式又はeラーニングによるアマチュア無線技士の養成、並びに④電波利用秩序の維持への協力の各事業について、継続して実施した。また、青少年育成施策や受講者交流サイトの運用等を通じ、アマチュア無線の振興に貢献した。

II 法人運営について

1 役員体制

今期評議員1名、理事1名の方が交代された。

2 一般法人への移行関係

2019年度公益目的支出計画実施報告書を6月30日付けで内閣総理大臣あて提出した。

3 事務局体制

(1) 職員等

2021年3月末現在における職員の配置は、次のとおりである。

<input type="checkbox"/> 本部職員（常勤役職員）	15名（15名）
<input type="checkbox"/> 地方職員（非常勤職員）	51名（54名）
合計	66名（69名）

※（）内の数は、2019年度末現在のもの

4 評議員会及び理事会

理事会を2回、定時評議員会を1回開催した。

5 その他

- (1) 養成課程功労者の表彰
- (2) 同一労働・同一賃金制度への対応
- (3) 業務用パソコンの入替え等

Ⅲ 事業について

1 技術基準適合証明・工事設計認証

- (1) 申込みに基づき適切に実施した。
- (2) 測定器等の有効利用

2 アマチュア局保証業務

- (1) 申込みに基づき適切に実施した。
- (2) 利用状況
- (3) 業務実施上の特記事項

3 集合講習による無線従事者の養成（第四級及び第三級）

- (1) 申込みに基づき適切に実施した。
- (2) 受講状況
- (3) 業務実施上の特記事項

4 eラーニングによる無線従事者の養成（第二級及び第三級）

- (1) 申込みに基づき適切に実施した。
- (2) 受講状況
- (3) 業務実施上の特記事項
2アマ・3アマとも、昨年と比して受講者数は大幅に増加した。

5 電波利用秩序維持への協力等

- (1) アマチュア無線の適正利用に関する周知広報
- (2) 各種イベント等の対応
- (3) 受講者交流サイト「HAM t t e」の運用
- (4) ARDF大会への支援
- (5) 原昌三（JA1AN）メモリアルアワードの発行
- (6) 一般財団法人日本UAS産業振興協議会（JUIDA）※との連携
- (7) FMぱるるん（MITO・76.2MHz）との連携

6 組織運営その他

- (1) アマチュア無線の制度改正等の要請及び施行
- (2) 新スプリアス規格への移行期限の延長に関する意見募集
- (3) JARDの法人としての在り方の検討
- (4) 評議員・役員への情報提供